

## シンポジウム 「裁判員の『体験』を踏まえた裁判員制度」

平野 潔<sup>1</sup>

### はじめに

弘前大学では、裁判員制度が施行された2009年から毎年シンポジウム等を開催してきた。昨年度までは、地域未来創生センターの地域未来教育・研究プロジェクトの一環として開催してきたが、今年度は、一般財団法人司法協会の2019年度研究助成を受け、「裁判員の『体験』を踏まえた裁判員制度の研究」の一環として実施させていただいた。

### 1. 背景と目的

裁判員制度が施行されて11年が経過したが、課題もまだまだ残されている。とくに出席率の低下や守秘義務などをめぐる問題は未だに解決していない。これらの課題を解決するには、まずは裁判員裁判のことを良く知る裁判員経験者の意見を制度の中に反映させる努力をすべきである。これが、本シンポジウムを含む研究の中心テーマである。まずは裁判員経験者がその経験から感じた裁判員制度の課題などを、裁判員経験者の声から分析し、より良い裁判員制度を構築するためにどうすればいいのかを考えることが、本研究の目的となっている。裁判員経験者の声を反映した制度設計ができれば、現在の裁判員制度について指摘されている課題も解決に向かい、市民がより参加しやすい裁判員制度が実現するものと考えられる。本シンポジウムは、このような共同研究の一環として開催されたものである。

### 2. 実施内容

本シンポジウムは、2020年11月21日（土）の14:00より、Zoomを使ったオンライン形式で開催された。弘前大学人文社会科学部が主催し、弘前大学人文社会科学部地域未来創生センターが共催して行われた。

第1部は、「裁判員制度の課題」というテーマの下、本研究の共同研究者である3名から報告を行った。平野からは「裁判員の『体験』から見る課題」、飯考行氏（専修大学）からは「裁判員制度の展開と課題」、河野敏也氏（桃山学院大学）からは「裁判員制度の課題—新型コロナウイルス感染症下において—」の3つの報告が行われた。

第2部では、パネルディスカッション「裁判員経験者の『体験』を踏まえた裁判員制度」が、飯氏のコーディネートのもとで行われた。6名の裁判員経験者にご登壇いただき、裁判員制度の課題について議論をしていただいた。例年は、青森県内の裁判員経験者にご登壇いただいているが、今年度はオンラインでの開催ということもあって、東京都や徳島県で裁判員を経験された方にもご登壇いただくことができた。

<sup>1</sup> 弘前大学人文社会科学部

## お わ り に

初めてのオンライン開催であったが、例年とほぼ同じ50名ほどの方にご参加いただきました。今年度の特徴は、全国各地の研究者や実務家の方にご参加いただいたこと、例年よりも学生の参加が多かったことである。とくに、本学の学生だけでなく、青森市内や東京の学生にも参加していただくことができた。一方で、青森県内の市民の皆さんへの発信という意味では、例年よりも難しい側面があった。

今年度も何とか開催できたのは、登壇者、参加者の皆さんのお陰である。登壇者、参加者の皆さんには、この場を借りて御礼を申し上げたい。

なお、本シンポジウムも含めた本研究の成果は、今年度末に発刊される報告書において具体的に示される予定である。

# シンポジウム

## 裁判員の「体験」を踏まえた 裁判員制度

日時：2020年11月21日(土)14:00-17:00

会場：Zoom によるオンライン配信

(配信会場：弘前大学人文社会科学部校舎 4 階多目的ホール)

### プログラム

#### 第1部／報告 裁判員制度の課題

平野 潔 (弘前大学人文社会科学部)

飯 考行 (専修大学法学部)

河野 敏也 (桃山学院大学法学部)

#### 第2部／パネルディスカッション

裁判員経験者の「体験」を踏まえた裁判員制度

コーディネーター：飯 考行 (専修大学法学部)

パネリスト：裁判員経験者など

#### 趣旨：

昨年、裁判員制度は制度が施行されて 10 年目を迎えました。弘前大学では、この 10 年間に振り返って課題を検証し、次の 10 年に向けた課題についても、裁判員経験者、法曹関係者を交えて議論を行いました。

制度そのものは比較的順調に運用されていますが、課題はまだ残されています。そこで、次の 10 年に向けて裁判員経験者の「体験」を踏まえて、どのような課題をどのように克服していくべきかについて、広く議論をしてみたいと思います。

※参加を希望される方は、下記「問い合わせ先」までメールで「お名前」「ご所属」「連絡先メールアドレス」をお知らせください。追って Zoom 会議 URL をお知らせします。

※配信会場でシンポジウムをご覧になることも可能です。その場合も、下記「問い合わせ先」まで事前に申し込みをしてください。当日は、マスクをご持参いただき、会場では着用をお願いいたします。また、手指の消毒にもご協力いただき、密な状況を避けるため、指定された席に着かれるようお願いいたします。

※状況次第では、Zoom によるオンライン配信のみになる場合もあります。その点もご承知おきください。

主催：弘前大学人文社会科学部

共催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部・平野 潔

tel&fax：0172-39-3199 e-mail：k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

地域未来創生センター  
Regional Future Creation Center



弘前大学

本シンポジウムは、一般財団法人司法協会の 2019 年度研究助成を受けて行われるものです。

VII.1

シンポジウム  
「裁判員の  
「体験」  
を踏まえた裁判員制度」